

「日進市空手道選手権大会競技規程」

(形競技)

1. 競技方式は赤、青のフラッグ式、トーナメント制を採用（予選、決勝とも審判員は3人制）
2. 各コートにて決勝まで行う。小学～中学生クラスは学年、男女別で行う。ただし、高校、一般については男女は別だが学年、年齢は混成とする。
3. 小学生から中学生までは予選及び3位決定戦は基本形、ピンアン、平安、撃砕より選出。決勝戦のみ指定形及び自由形でも良いとする。
4. 小学生は同じ形を1回戦から決勝まで何度演武しても良い。ただし中学生は男女共決勝戦は予選で使用した形を使用してはならない。なお3位決定戦は予選と同一形でも良い。
5. 高校生・一般男女については1回戦は「第1指定形」より選出、2回戦以降（3位決定戦を含む）は自由形とする。1回戦がトーナメントの都合上、小さい山のブロックの場合、次戦が事実上の1回戦となるため、「第1指定形」を2回演武すること。その際は同じ指定形を続けて演武しても良い。ただし、決勝戦は1回戦で使用した形を使用してはいけない。なお、参加人数、トーナメントの都合上1回戦が決勝となる場合は自由形でよい。2回戦が決勝となる場合は1回戦で使用した以外の形で良い。
6. 選手は演武する前に必ず演武する形の名前を記録係に伝えること。

(組手競技)

1. 競技方式は赤、青のトーナメント方式を採用。審判は6人制（監査役含む）。ただし、当日審判員の人数が少ない場合、審判長の判断で5人制（監査役含む）へ変更する。
2. 組手競技の勝敗は各クラスとも6ポイント先取とする。
3. 各コートで各クラス3位決定戦まで行う。（決勝残し）
4. ポイントの参考例は、突き技が上・中段とも1ポイント。蹴り技は中段が2ポイント、上段が3ポイント。ただし、相手を倒した、または崩して背中が床に着いた状態から突き技が決まれば3ポイント。
5. 競技時間については小・中学生までが予選～決勝戦まで1分フルタイムで行う。高校生以上については、男女共予選～決勝戦は1分30秒のフルタイムとする。
6. 各安全防具は全空連認定のノンコンタクト用を採用。それ以外は認めない。
7. 当大会は10カウントルールは採用しない。
8. カテゴリー1、2の反則については審判員は厳しく対処し、事故の未然防止に心がける。
9. 倒れた、もしくは倒した相手に対する「蹴り」による攻撃は危険行為とし、技が決まっても反則（カテゴリー2）とする。（※突きはポイントとみなす）
10. 選手は礼節を重んじ、入退場の際は対戦相手にきちんと礼をすること。

※各競技判定は各コート長および監査役に一任し、判定についての抗議などは一切認めない。

<ゼッケンについて>

以下の要領で作成ください。各クラスの記載は実施要項掲載種目でお願います。記載例は次の通り。「一般男子」「中学生1年男子」、「中学生2・3年男子」（※形のみ出場の場合は「中学生男子」でよい。両方出場又は組手のみの場合、先述した要領で記載）。1種目のみは中央に種目を記載。

		「台紙：白布 縦15cm、横20cm」
	小6男子	→ クラス：黒字 「クラス」を記入
形,赤字←	形 組手	→ 組手：黒字 「種目」を記入
	日進 太郎	→ 名前：黒字 「氏名」を記入